報道関係各位

2021 年●月●日
株式会社 PR TIMES

一度きりしか使えない「もったいない」を解決。文字が消せて繰り返し使えるサステナブルな付箋「●●●」●月●日発売

シリコン製で机上やモニター画面への貼り付けも繰り返し可能

サステナブルな商品開発がモットーの文房具メーカー・株式会社 PR TIMES（本社：東京都港区、代表：山口 拓己）は、2021 年●月●日（●）より、シリコン製の付箋「●●●●」を全国のバラエティショップおよび当社 EC サイトにて販売開始いたします。
水性ペンで何度も書いたり消したりできるほか、シリコン製なので机の上やパソコンのモニター画面にも繰り返し貼ることができます。今回は第 1 弾として様々なシーンで活用可能な 2 サイズのラインナップを用意しています。
【URL】https://～～

水性ペンと消しゴムで、書いて消せる付箋。吸着シールで貼りはがしも繰り返し可能

「●●●●」は繰り返し書いて消せる、シリコン製のサステナブルな付箋です。通常、紙の付箋は一度きりしか使えない使い捨てですが、同じようなメモを残すこともしばしばあり、「もったいない」と感じることも。「●●●●」は水性ペンと消しゴムで何度も書いて消すことができ、紙ゴミが発生することはありません。インクの消し跡が残りにくい材質を使用し、繰り返し使うことによる黒住を防いでいます。また裏面は粘着力の高い吸着シールを使用。紙だけでなく、プラスチックやパソコンのモニター画面にも繰り返し貼れる優れものです。

水性ペンで文字を書いている画像。
書いたり消したりする GIF なども効果的。

貼りはがしの様子も画像だけでなく
GIF があると効果的。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>
株式会社 PR TIMES、広報担当●● TEL：XXX-XXXX-XXXX MAIL：▲▲@prtimes.co.jp

商品名や発売日だけでなく、メディアや生活者にとってニュースバリューが伝わりやすいよう、新規性・社会性を伝えるタイトルにしましょう。

【起承転結・展】

プレスリリースの要旨や商品の重要な特徴は、ファーストビューであるリード文に記載しましょう。開発背景などよりも先に、絶対にニュースで取り上げられるファクトを先に伝えることをおすすめしています。

正方形と B6 の 2 サイズ展開。オフィスに留まらないバラエティ豊かな活用シーンを提供

■正方形タイプ

従来の付箋でも定番サイズの正方形タイプ。自分用のメモや仲間への連絡事項など、様々なシーンで使えます。4 色展開で気分や用途に合わせて使い分けも可能です。

サイズ：●●×●●(mm)

価格：250 円／1 枚、1200 円／5 枚セット

色：ホワイト、ピンク、ブルー、イエロー

カラー展開の分かる
白抜き画像

■B6 タイプ

手帳サイズの B6 タイプは、TO DO リストや会議のメモなどにも使いやすい商品です。紙の付箋ではあまり用意のないサイズですが、開発にあたっての社員やお客様のアンケートの中で「大判サイズも欲しい」という声があり、商品化に至りました。壁やホワイトボードに貼り付けられるほか、冷蔵庫などにも貼り付けられるためオフィス以外の場所でも活躍します。

サイズ：●●×●●(mm)

価格：380 円／1 枚、1100 円／3 枚セット

色：ホワイト、ブルー

開発担当の気付き、社員やお客様の声を機に商品を開発

当社ではこれまでも「サステナブルなステーショナリー」をモットーに、様々なテーマを持って商品開発を手掛けてきました。日本の国民一人当たりの紙・板紙使用量は 202.07kg と世界でもトップクラスの水準にあり（※1）、紙ゴミの削減は環境配慮の観点から重要な社会課題となっています。「●●●」は開発担当・●●のゴミとなりうるものを減らしたい、日頃付箋を使う中で「もったいない」と感じた点を解決したいという想いから、素材と使いやすさの両面にこだわりました。

また当社では、社員やお客様へのアンケートを通して日々の不便や「こんな使い方もできたらいいのに」という声を集め、商品開発をしています。「ちょっとしたメモを今度の会議の場でも使いたい」「ホワイトボードのように目につくところにしばらく貼っておきたい」など、1 回限りの利用だけでなく少し長い目で使えるように、通常の付箋ではあまりない B6 サイズも用意しました。

※1：「日本製紙連合会：製紙産業の現状 ＞ 世界の中の日本 ＞ 国民一人当たり紙・板紙消費量」より引用

開発担当　商品企画部・●●●●　コメント

「そういえば、先週も『押印お願いします』の付箋を上長宛に書いたな…。粘着力が衰えない付箋があったらもったいなくないな。それに何度も書いたり消したりできたらよりハッピーだな」と、業務中にふと思ったことがこの商品開発のきっかけです。付箋は小さな紙切れ一枚にすぎませんが、塵も積もれば山となるというように、ゴミとなりうるものそのものを減らしていくことが重要です。そして今回も開発の過程で社員や多くのお客様の声をいただき、素材やサイズにこだわりを持って商品を作りました。私のような「ズボラだけれども環境に貢献したい」という皆さんに使っていただけたらとてもうれしく思います。

開発担当の
プロフィール写真

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

株式会社 PR TIMES. 広報担当●● TEL：XXX-XXXX-XXXX MAIL：▲▲@prtimes.co.jp

社会的なトレンドを踏まえたフックの一例として、サステナブルを例としています。またどのような観点で社会性があるのかは、統計データなど客観的な根拠を用いることも重要です。データを活用する時は引用・出典の記載方法も確認しましょう。

【起承転結・展】

商品やサービスにまつわる社会課題などについて、数字や客観的根拠があると、商品やサービスによる社会的な意義に説得力を持たせられます。

【起承転結・展】

開発過程において、転機となった行動や出来事。ストーリーを知ることで共感・理解が深まります。

【起承転結・展】

きっかけ。担当者の想いや行動から商品化がスタートすることも多いです。生の声が伝わることで共感に繋がります。

これまでの商品例と今後の展望　―地球に優しいステーショナリーを―

前述の通り、当社では「サステナブルなステーショナリー」をモットーに、ものづくりに励んできました。「当たり前に思っているけれど、本当はこれって地球のためではないんじゃないか」「この不便を解決したら、同時に環境問題や社会課題の解決にもつながるのでは」。そんな日々暮らす中での社員の気付きやお客様の声が、商品につながります。当社の商品を使うことで日々が快適に、その結果、地球のためにもなっている。そんな一石二鳥な商品をこれからも作り続けます。

これまでに開発した商品例

・環境に配慮した再生紙を活用したノート「●●●●」
https://~~~
・伝統技術「寄木細工」で作ったボールペン「●●●●」（貴重な技術を後世に残していくこともサステナブルの一つと考えています）
https://~~~

アンケート回答のお願い

当社では日々開発中の商品のアイデアをいただくため、お客様へのアンケートを行っております。よろしければぜひご回答ください。
アンケートURL：https://~~~

株式会社 PR TIMES について

会社説明文

【会社概要】

社名：
本社所在地：
代表取締役：
事業内容：
設立：
事業内容：
HP：

<報道関係の方からのお問い合わせ先>
株式会社 PR TIMES　広報担当●●　TEL：XXX-XXXX-XXXX　MAIL：▲▲@prtimes.co.jp

【起承転結・展】

未来に向けてをプレスリリースに記載することで、「今後もこの企業を応援したい」という新たなファンの獲得にもつながります。